

2014年(平成26年)1月27日(月) NO 70号

K-PURO NEWS

【事業所】

◆	社名	株式会社 ケイプロ	http://www.k-puro.co.jp
◆	商号	都市防犯プランニング社	mail info@k-puro.co.jp
◆	本社	埼玉県川口市芝塚原 2-3-11 エステートミア	TEL 048-261-3412
◆	千葉支店	千葉県千葉市中央区新町 1-20 江澤ビル	TEL 043-243-6110

【業務内容】



機械警備事業	弊社独自のセキュリティプランニングに SECOM・ALSOK・CSP のインフラを使用
防犯カメラ事業	周辺環境・建物構造・人的要因・犯罪データを分析し有効かつ適正な位置へ設置
メンテナンス事業	消防設備点検工事から AED 幹旋に至るまでのメンテナンス業務の取扱い

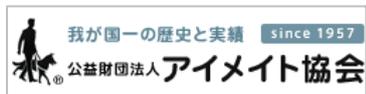


【加盟団体】



RID2770	川口モーニングロータリークラブ	http://www.h3.dion.ne.jp/~mrc/
NPO 法人	さいたま起業家協議会	http://www.saitama-kk.org/
公益社団法人	千葉東法人会青年部	http://www.chibahojin.jp/
一般社団法人	千葉市中央区倫理法人会	http://www.rinri-chiba.org/
NPO 法人	日本危機管理学総研	http://www.kikikanri.jp/
公益財団法人	モラロジー研究所	http://www.moralogy.jp/

【応援団体企業】



ごあいさつ

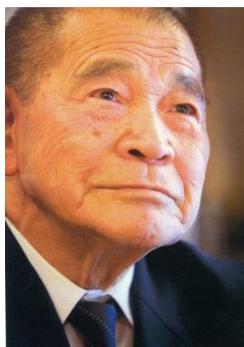


今年の干支は甲午(きのえ・うま)、音読みでは(コウゴ)と言います。甲は、「草木の芽が殻を破って頭を出す」という象形文字で、「旧体制が破れ革新が始まる」という意味です。前の十年に通用していたものが通用しなくなるという意味も含まれます。また午は、五行で午は火。時刻で言えば太陽が最も高く上る正午を指します。「激しく動いて抵抗する」という意味もあります。故安岡正篤氏は、旧来の代表勢力がすでに極に達して、反面これに対する反対勢力の突き上げに遭う象(かたち)であると唱えています。

以上を鑑みると、このことは国内の新勢力を指すのではなく、近隣諸国や米国、さらには世界中の各国を示しているように感じます。同じ甲午の120年前には日清戦争が勃発しました。歴史は繰り返すと言いますが、中国との関係は妥協する必要こそありませんが、慎重な対応を考えざるを得ません。2014年は厄介な隣国、中国との関係が1つのキーワードになるような気がします。

代表取締役 木戸 良樹

現代の偉人 伊與田 覺氏 (論語普及会学監)



私が若い時分に懇意にさせていただき、
感化を受けた恩人の一人に、
蓮沼門三という方がいらっしゃいました。

蓮沼先生は、日本の社会教育団体の草分けともいえる
「修養団」の創設者としてつとに知られた方ですが、
食事を共にする機会がある時などにしばしば、
「物事を完成するには、こういうことが大切なんだよ」
と説き聞かせてくださった訓戒が、いまでも大変印象に残っています。

「点々あい連ねて線をなす。
線々あい並べて面をなす。
面々あい重ねて体をなす」

点と点を連ねて一本の線をつくる。
その線を並べていくと面になる。
その面を重ねていくと一つの体になる。
自らの目標に到達しようと思えば、
このような生き方を貫いていくことが重要なのです。

『中庸』という古典には、この訓戒に通ずる教えが次のような言葉で表現されています。

「至誠は息む無し。
息まざれば則ち久し。
久しければ則ち徴あり」

至誠(誠実)というものは、本気である。
茶気(遊び心)ではない。
内から湧き出て止まる時がない。
休まずずっと続けていると、
それまで見えなかったものが見えるようになる。
「徴」とは印、兆しのことです。
誠実に、久しく物を続けることは、
物事を完成する上で不可欠な姿勢なのです。



大正 5 年(1916)、高知に生まれ、学生時代より安岡正篤先生に師事。
昭和 15 年、青少年の学塾有源舎発足。21 年、太平思想研究所を設立。28 年、大学生の精神道場有源
学院を創立。32 年、関西師友協会設立に参与し理事・事務局長に就任。その教学道場として 44 年、財団
法人成人教学研修所創立を推進し、常務理事・所長に就任。62 年、論語普及会を設立し論語精神の昂
揚に尽力。平成 8 年、研修所の常務理事・所長を退いて学監に就任、現在に至る。

記事提供 到知出版社

今月の良い話 小野田 寛郎氏 (元陸軍少尉)



一昨日、91歳でその生涯を閉じた元陸軍少尉・小野田寛郎さん。終戦から29年もの間、任務解除の命令が届かなかったため、フィリピン・ルバング島で戦い続けていた小野田さんが帰国したのは1974年のこと。その時、小野田さんが見せた直立不動の敬礼の姿はサムライのようだと、日本中に大きな衝撃を与えました。帰還後、ブラジルで牧場を経営したり「小野田自然塾」を開くなど精力的に活動。90歳まで腹筋運動による筋力トレーニングに励んでいたといいます。

30年間で発熱は2回でした。それは仲間が負傷して、介護疲れでちょっと出ただけです。

熱が出たところで、医者も薬もないですから、まずは健康でいることが大事です。

そして健康でいるには頭をよく働かせなければダメです。

自分の頭で自分の体をコントロールする。

健康でないと思考さえ狂って、消極的になったりします。

島を歩いていると、何年も前の遺体に会うこともあるんです。

それを埋めながら、

「早く死んだほうが楽ですね」

と仲間と言われ、本当にそうだなと思ったこともあります。

獣のような生活をして、あと何年したらケリがつくか保証もないですし、

肉体的にもそういつまでも戦い続けるわけにもいかない。

いずれはこの島で死ななきゃいけないと覚悟しているので、ついつい目の前のことに振り回され、

「それなら早く死んだほうが……」と思ってしまう。

結局頭が働かなくなると、目標とか目的意識が希薄になるんです。

よく孤独感はなかったかと聞かれましたが、僕は孤独なんていうことはないと思っていました。

22歳で島に入りましたが、持っている知識がそもそもいろいろな人から授かったものです。

すでに大きな恩恵があって生きているのだから、決して一人で生きているわけではないのです。

一人になったからといって昔を懐かしんでは、かえって気がめいるだけですから、一人の利点、それを考えればいいんです。

一人のほうがこういう利点があるんだと、それをフルに発揮するように考えていけば、昔を懐かしんでいる暇もなかったです。



自然塾の敷地には「不撓不屈」と書かれた石碑があります。

僕は日本の子どもたちには、一度目標を持ってことに立ち向かったら、

簡単に諦めない、執念深く、しぶとく、くじけずに頑張ってもらいたい。

そして誇りを持って、優しい日本人であってほしい。

その願いを込めて、不撓不屈の文字を刻みました。

それは僕自身が貫いてきた人生の信条であり、座右の銘でもあります。

記事提供 到知出版社

事件ファイル NO70 カーテン火災



我が家では小型の電気ストーブを良く使用します。先日ベランダに出た際、カーテン付近に置いてあった電気ストーブにカーテンをうっかり掛けてしまい、ご覧のとおり焦がしてしまいました。防災用のため燃え広がることはありませんでしたが、もう少し発見が遅ければ大事に至ったかも知れないと思うとぞっとします。石油ストーブやファンヒーターからカーテンに燃え移り、火災に至るケースがどこのご家庭でも考えられますので十分ご注意ください。ストーブはカーテンや洗濯物から離して使用しましょう！



.....
下の写真は実験用映像です。カーテンが石油ストーブに接触してから3分であっという間に発火しました。安物買いの銭失いにならぬよう、カーテンは防災用をお勧めいたします。

プロ太の小話集 NO70 『言い争い』

ありふれた一般家庭、そこに言い争いをする兄と妹がいた。
それを父親が目撃し止めに入る。
父 『コラコラどうしたんだお前たち』
兄 『どっちがパパを愛してるのかって言い争ってたんだ』
父 『お前たち…』
うっすらと涙をうかべ子供たちの頭をやさしくなでて部屋をあとにした父親。
すると、また言い争いが始まる
兄 『お前のほうだよ！』
妹 『お兄ちゃんよ！』



////////////////////
今月の K-PURO ニュースいかがでしたか？

田中将大投手がヤンキースと7年契約時価総額163億円で大型合意。さすがにここまで評価されているとは予想していませんでした。こんなお金使いきれませんね。たぶん、マー君は東北復興のために多額の寄付をされると思います。昨年12月にACミランに移籍した本田圭佑に続き、一流チームのトッププレーヤーとして活躍する姿は日本人として誇りに感じます。テニスの錦織圭選手やゴルフの松山英樹選手、石川遼選手もいずれトップ10入りしてくると予想されます。一流選手に共通して言えることは、とてもファンを大切にしていること…。自分のことを応援してくれる人の目に見えない力が、底力という潜在能力を引き上げてくれることを彼らは直感的に知っているのでしょうか！

注:プロ太とは、写真のK-PURO番犬です。(体長10メートル・体重1トン・無敵無敗)